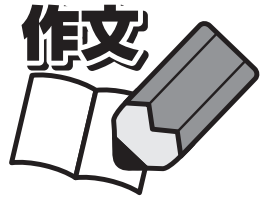


全国コンクール 優秀賞

群馬県コンクール 金賞



## じいちゃんのお米

安中市立安中小学校 3年 作田 大和

ぼくの家族は、じいちゃんが作っているお米を食べています。その味は、とてもおいしいです。

じいちゃんのお米作りは、冬に田んぼの土おこしからはじめます。じいちゃんは、トラクターにのって土をおこします。ぼくもじいちゃんといっしょにのって、土おこしを手伝っています。

四月の下じゅんに親せきが集まって、もみまきをします。きかいをぐるぐる回すともみが出てきて、「あんなにはやいスピードでもみをまけるなんてすごいな」と思いました。

もみまきをした後、水が入った田んぼに育びょうばこをならべて育てます。なえが植えられるくらいの大きさに育ったら、田植えをします。きかいでは、はじっこの方は植えられないので、そういったところはぼくたちが手で植えます。

六月のはじめに田植えをすると、じいちゃんの田んぼには、ホウネンエビやカブトエビ、ホタルなど生き物がたくさん出てきます。じいちゃんの田んぼにどうしていろいろな生き物がいるのかというと、じいちゃんがむ農薬にこだわっているからです。じいちゃんにそのわけを聞いてみました。じいちゃんは、

「まごたちに農薬の入ったお米を食べさせたくないからだよ。」

と、言っていました。ぼくは、「ぼくたちのために気を使ってくれているんだな。」と、思いました。

七月の下じゅんごろ、いねにほが出ているのを見つけました。ほをかんさつしたら、もう白い花がさいていました。ぼくは、いねの花を見つけて、今年のお米が食べられるのが楽しみになりました。じいちゃんが一生けんめいお米作りをしてくれているので、もっとじいちゃんのお手伝いをして、お米作りのやり方をおぼえたいです。